

悔い改めて生きよ

2021年7月4日

エゼキエル書 18章

序：聖餐式 (by イエス・キリスト、最後の晩餐)
for 主の死を告げ知らせる、贖いの御業に感謝
聖化のための恵みの手段

how 悔い改め、感謝、献身

今日の聖餐式は主のあわれみの特別な機会
特に、罪の悔い改め (個人、教会)

今、第四波

気の重い務め (しかし火急のこと) への備え 詩 106・32~33
メリバの水

事例、時系列

I. 主は、教会の罪をさばくために、手を伸ばされた The Time has come.
ふるいを手に持っておられる

牧師も信徒も皆、全員

[実態]

どんな罪か？ 分裂 例：コリント教会
シャドーチャーチ

某家庭集会 (未信者への伝道目的ではない、信者が集まる、牧師除外)
交わり会？

妬み、競争心 (召命、基本的な実力)

主の教会ではなく、自分たちの気に入る集まり 世俗の集まり
主が贖われた民は主のもの、やりたい放題は主に弓を引くこと

顕在化 (1)3月の相談会 (次の牧会者)
(2)6月の相談会の前 (現状)
(3)先主日のできごと
(4)先週の週日

- 問題点 (1)規則や常識を無視・軽視
(2)勸告、助言を聞き入れない
(3)自分のもとより、教会、主の御名をも損なう
(4)キャンセルカルチャー（歴史、伝統否定）
(5)盗み（厚かましさ、図々しさ） *他者の成果*

ますます、エスカレート（勝ち馬に乗ろうと）
もはや、主の忍耐も臨界に達す

II. 主の鉄鎚は下される

さばく……悔い改めて立ち帰らせるため 罪を捨てて生きるため
かたくなに悔い改めないまま、死ぬことは望まれない

III. ふるわれる

アモス 9-9. ルカ 22-31

信仰の真偽

ふさわしいものとふさわしくないもの（行い） *人向.*

IV. 生きるには

ローマ 8-13

主の御声を聞く

主に憐れみを乞う

罪を認め、捨てる（きっぱり、潔く、再び拾わない）

勝ち馬というなら、主こそ勝ち馬（人ではなく主につく）

V. 対応

主は最後のチャンスとして、ご自分の食卓に招いておられる（→エダに「友よ」）

悔い改めて生きる方を選択するよう。

今後、ひとりひとりを主が個人的に取り扱われ、教会も揺り動かされる

エゼキエル 18・30～32